

▶▶▶ 技術士のさらなる活用に向けて

日本技術士会では、企業の皆様からの声を活かし、
技術士のさらなる活用に向けた取り組みを行っています。

- (1) 自己研鑽及び人脈づくりの機会場の提供の継続と拡大
・技術士の自己研鑽の継続
・同業種、異業種との人脈構築
 - (2) 業務資格の拡大、独占業務の拡大
 - (3) 社会的評価の向上、知名度の向上
・技術士として社会や事業に貢献し、自らPR
・技術士の活躍の情報収集及び広報
・技術士資格、JABEE資格の認知度の向上
 - (4) 企業内(特に企業の経営層)認知度の向上
 - (5) 海外エンジニア資格との相互認証制度の確立
- (2019～2020年 資格活用委員会 企業ヒアリングより)

▶▶▶ 技術士会の紹介



日本技術士会HP
<https://www.engineer.or.jp/>



▶▶▶ 技術士に仕事を依頼するには

技術士事務所を検索

〇〇〇〇技術士事務所

日本技術士会に問い合わせ

https://www.engineer.or.jp/c_topics/000/000148.html



▶▶▶ 社内の技術者を技術士に

技術士取得を推奨して、社員の能力向上

- ・昇格条件に技術士
- ・技術士取得で報奨金
- ・技術士に資格手当支給
- ・高い専門性と高い倫理観で業績UP

▶▶▶ 技術士になりたい技術者の方は

第一歩は技術士第一次試験に挑戦することから始まります。
合格後、必要とする実務経験年数を積んだうえで、技術士第二次試験に合格・
登録すれば技術士になることができます。

日本技術士会HP「技術士になるには」

https://www.engineer.or.jp/contents/become_engineer.html



発行：技術士資格活用委員会

https://www.engineer.or.jp/c_cmt/shikakukatsu/



日本の科学技術における最高位の国家資格 産業界をリードする 技術士

《企業経営者の皆様》

技術士は、持続可能な社会の構築に向けての企業の多様な事業分野への展開や、
中長期の収益性・生産性の向上と持続的な成長の原動力となります。

《技術系社員の皆様》

企業に所属する技術系社員は、科学技術に関する高度な知識、応用能力及び高い
技術者倫理を備え、技術系で最高位の国家資格である技術士を取得し、より責任
ある立場で社会的に重要なプロジェクトに携わることで、ご自身の技術者としての
価値を一層高めていくことができます。

技術士が企業・産業界をパワーアップします。

技術士とは

技術士は、産業経済、社会生活の科学技術に関するほぼ全ての分野（21の技術部門）に関わり、先進的な活動から身近な生活にまで貢献しています。

【21の技術部門】

機械、船舶・海洋、航空・宇宙、電気電子、化学、繊維、金属、資源工学、建設、上下水道、衛生工学、農業、森林、水産、経営工学、情報工学、応用理学、生物工学、環境、原子力・放射線、総合技術監理

技術士は、法律*により規定された、科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められた技術者で、科学技術の応用面に携わる全国約240万人の技術者にとって最も権威ある国家資格です。

技術士は、技術士法*により高い技術者倫理を備え、継続的な資質向上に努めることが責務となっています。

私たち技術士は、関連学協会と連携しつつ、イノベーションを通じて達成する新たな未来社会Society5.0の実現にエンジニアリングの力で貢献し、SDGsの達成にも寄与していきます。

※[技術士法]

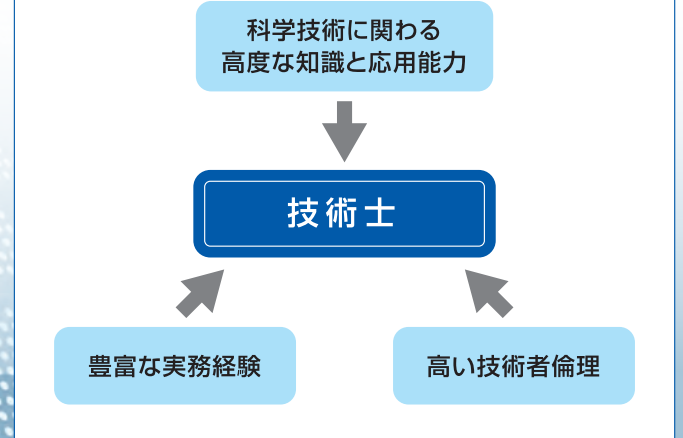
技術士法は、1957年5月20日に制定されました。技術士等の資格を定め、その業務の適正を図り、もって科学技術の向上と国民経済の発展に資することを目的としています。（第1条）

職域毎の技術士

(技術士ビジョン21より抜粋)

- ①独立したコンサルタントとしての技術士
個人またはコンサルタント企業に所属し、コンサルタントとして業務を営む。
- ②企業内技術者としての技術士
研究職、計画・設計職、製造職、監理・監督職などでリーダーまたは核の役割を担う。
- ③公務員技術者としての技術士
行政サービスにおいて、技術面での知識や判断を必要とする業務を行うだけでなく、関係機関との協議や地域住民との折衝などの職務を担う。
- ④教育・研究者としての技術士
大学等や公的な研究機関に属し、学生や組織人の教育や自ら研究に従事する。
- ⑤知的財産評価者等としての技術士
弁護士、弁理士等とパートナーを組んで技術的評価の役割を担う。「特許権」や「著作権」の帰属を重視する方針を定めたことと併せ、依頼者の権利を守ることを職務とする。
- ⑥その他の職域で活躍する技術士
企業経営で貢献する技術士やNGO/NPOで活躍する技術士などがある。企業経営者は、技術士としての能力とファイナンスを含めた経営能力を持ち、経営を担う技術士の典型である。

技術士資格



企業における技術士の活用とその効果

■企業における技術士の活用

技術士は、コンサルティング業務のほか、企業内における業務、人財育成、公的機関への協力、海外支援等に活用できます。

〈コンサルティング業務の実施〉

- ・技術プロジェクトの企画、調査、計画、設計、監理
- ・工事監査・技術関係試験
- ・技術的研究・調査、技術審査・評価
- ・新技術の実用化のための研究開発支援
- ・裁判所・損保機関等の技術調査・鑑定

〈企業内における業務〉

- ・技術業務のリーダーとして、技術調査、技術開発、技術評価、技術監理、技術指導を実施
- ・技術的課題の解決や倫理規定に基づく技術面での取締役・監査役等の業務を幅広く実施
- ・大学等の高等教育機関、公的な研究機関と連携し、企業が抱える技術的課題を解決
- ・弁護士等とパートナーを組んで知的財産評価者として技術的評価を実施

〈人財育成〉

- ・技術士資格の取得を企業でのキャリア形成スキームと関連付けることによって人財育成に活用
- ・技術士という目標を持つことで社員の活力を向上
- ・技術士の資格を活用し世界で活躍する技術者を育成
- ・CPD（継続研鑽）により技術者としての資質が向上
- ・異部門の講演会や勉強会への参加による異業種との人脈づくりが可能に

〈公的機関への協力〉

- ・行政業務における、関係機関との協議、地域住民との折衝を通じての地域の課題解決

〈海外支援〉

- ・公的海外関係機関への専門家派遣
- ・外国政府、自治体への専門家派遣
- ・世界銀行、アジア開発銀行の業務の受託・実施

■企業における技術士活用の効果

技術士資格は、専門技術を極めたことを証明する資格です。技術士資格を活用することで、企業の発展に寄与します。

- ・企業活動を通じたSDGsへの貢献において、技術士は重要な役割を果たします。
- ・自社・自団体の技術力の証明として技術士資格を活用できます。
- ・技術士が存在することで企業倫理・技術者倫理を保持できます。
- ・関係省庁や自治体等への説明が公正に行えます。
- ・幅広い分野（21の技術部門）の技術士の資格を活用することで、企業の発展に寄与します。



◆「技術士資格活用PRリンク集」技術士に興味のある方、技術士の能力を活用したい方への情報をリンク集としてまとめました。是非ご活用ください。

https://www.engineer.or.jp/c_cmt/shikakukatsu/topics/007/attached/attach_7594_2.pdf

「技術者」が「技術士」になって得られるもの

■技術士資格の取得で得られるもの

- ①技術者の最高資格を取得することで、自分の技術力を証明できます。
- ②技術士試験合格を目指すことで、技術力向上の目標とすることができます。
- ③自分の技術力を様々な場所で活用できます。発信力や信用が向上します。

■日本技術士会活動に参加して得られるもの

- ・同業種及び異業種との人的交流による人脈づくり
- ・技術士会主催のCPD行事への参加による自己研鑽
- ・技術士会活動を通じての社会貢献

先輩技術士の生の声

技術士になってよかったこと

進学、就職、社会人になってからのステップアップを技術士という資格が支えてくれたように思えます。技術士という資格が性別や年齢を超えた自信となり、私のチャレンジ精神の源になっています。（資源工学部門）

子育てしながら働き続ける上で、技術士の資格は自分自身の心のよりどころになりました。また、技術士の受験を機に、都市計画の基礎知識を学ぶだけでなく、町や会社をどうしていきたいのか、という自分の考えを整理することもできました。（建設部門）

私は企業内技術士ですから、自分の技術をいかに会社に活かすかということは当然考えますが、技術士になって会社という枠ではなく社会という大きい視点で物事を考えるようになりました。（農業部門）



先輩技術士の生の声

日本技術士会に入会してよかったこと

様々な業種・部門・地域の方との交流が増えたことです。様々な人と出会うことでいろいろな考え方に触れ、技術者として成長できるだけでなく、人として視野が広がっていると感じています。（金属部門）

他分野の技術士から、仕事の考え方や進め方を学ぶことができ、大きな刺激も受けています。困ったときはいつも助けてくださるみなさんとの出会いは、なにものにも代えがたい財産ですと大切にしたいと考えています。（建設部門）



◆「技術士キャリアモデル集」（下記URLに掲載）では、先輩技術士が、キャリア形成や技術士としての働き方などについて語っています。技術士を目指す方の参考として是非ご活用ください。



https://www.engineer.or.jp/c_cmt/danjyo/topics/006/attached/attach_6979_1.pdf